

向陽技研、海外生産を再編

家具部品
組み立て
ベトナム工場に集約

【南大阪】向陽技研（堺市西区、山下雅伸社長、072・275・1300）は、家具の部品の組み立て工程をベトナム・ハノイ郊外の工場に集約する。それに伴い、中国・東莞（広東省）の工場での組み立ては年内をめどに終える。ベトナム工場の拡張を機に海外2工場の生産体制を見直し、中国では販売に専念することに決めた。拡大する海外の需要に対応し、供給体制を拡充するのが狙い。

向陽技研はソファや座いすのリクライニング部分に使われる「ラチェットギア」と呼ばれる角度調整金具を



組み立ては海外2工場が担っている。2期工事を終えたベトナム工場は、拡張部分分が8月にも本格稼働する。同工場の延べ床面積は従来より約3000平方メートル増え、生産能力は従来比で最大2倍に高めることが可能。まずは同工場の従業員数を現在の1・5倍に増やす予定だ。同社はグローバル展開に注力し、2006年2期工事を終えたベトナム工場

に中国工場、13年ドイツに販売拠点、18年にベトナム工場を開設。売上高に占める海外比率は約8割に達する。中国市場と欧州市場向けが現在の主力だが、山下社長は「開拓の余地は残っている」と話している。海外への供給体制を拡充することで、22年12月期の売上高は19年12月期比約4億円増の30億円を目指す。

事業継続・デジタル

名商、コロナ禍中小支

【名古屋】名古屋商工会議所は22日、新型コロナウイルス感染症拡大を踏まえ、新たに中小企業支援の取り組みをまとめた緊急アクションを発表した。「コロナ禍における中小企業の事業継続とデジタル化への対応」をテーマに、緊急課題と捉え、相談体制の強化、新事業の創出などの支援を通じて

技術開発・経営改善に補助金

緊急支援メニュー追加

大阪・八尾市

【東大阪】据え、内製化を促進する設備投資や、観光需要喚起のオープンファクトリー費用などを補助する。

を補助する。補助上限額は10万円で、補助率は2分の1。2021年1月29日まで申し込みを受け付ける。緊急対策Cはサブライチエーション分断リスクに備えた内製化やデジタル変革（DX）推進のシステム開発、企業ブランディング強化、オープンファクトリー実施などの費用を補助する。飲食店の販路拡大の取り組みも支援する。補助上限額は250万円で補助率は2分の1。審査があり、10月12日までに事業計画書の提出が必要となる。

「コロナ禍における中小企業の事業継続とデジタル化への対応」をテーマに、緊急課題と捉え、相談体制の強化、新事業の創出などの支援を通じて

日刊工業新聞

THE NIKKAN

KOGYO SHIMBUN

7月23日 木曜日

2020年(令和2年)

【東大阪】据え、内製化を促進する設備投資や、観光需要喚起のオープンファクトリー費用などを補助する。